

視察研修レポート 6月27日～29日 福井県鯖江市・富山県氷見市

下記のとおり福井県・富山県の3施設への視察を行いました。いずれも、画期的な事業や施設でした。

鯖江市JK課

福井県の西寄りに位置し、面積84・59km²、人口約6万9千人の眼鏡フレーム全国シェア約96%の市です。

ここでは「鯖江市民主役条例」についての研修でした。

旧図書館を利用した市民ボランティア推進がなされ、中でも特に「鯖江市役所JK(女子高生)課」を設置したまちづくりの取り組みに驚かされました。

まちづくりに無関心の代表格を巻き込むためということ。画期的な発想を自ら実施するというもので、いろんな事業やコラボがなされていました。



女子高生がまちづくりに参画

その流れで「〇〇(おばちゃん)課」設置にも至ったということ。



高岡地区広域圏事務組合 婚活

富山県の北西部に位置する高岡市・氷見市・小矢部市の3市人口約25万人の可燃ゴミの処理を行う施設の研修でした。

あわせて、「ここを核とした「広域観光」「体験・交流」「情報提供」を柱とする10のソフト事業が実施されていました。

中には婚活事業があり、各市で登録したおせっかいさん達が情報を交換して、仲人役をするというものです。

人口減少の対策として実施され、実績はこれからだということ。



開放感のあるフロア

氷見市 旧高校を庁舎に

富山県の北西部に位置する面積230・56km²、人口約4万8千人の市庁舎を見学しました。

東北の地震をみて、沿岸部にある庁舎の危険性を理由に移転が計画されました。たまたま廃校になる高校があったことから、これをリニューアルして使うことになりました。

特に住民がよく訪れるメインは旧体育館で、その広さに驚きました。教室は会議室などに、グラウンドは駐車場にと有効な利用がなされていました。

文化にふれる

社会教育課より施設の概要・利用状況・今後の活用の方角性について説明を受け、意見交換を行いました。

歴史民俗資料館

志免鉱業所のジオラマ・昔なつかしい農具・昭和のおもちゃなど3千点が展示されています。

つつじ祭り会場の健康広場への移設やJRウォーキングコースからはずれたことなどにより、平成28年度来館者は3130人と減少しています。

来館者増に向け、開館日を増やすことや、展示の工夫、トイレ改修の検討など、活発に意見交換を行いました。



5月12日(金) 歴史民俗資料館・久我記念館を視察



(撮影 尾花 基)

久我記念館

糟屋郡唯一の公立美術館として小・中学生や若手作家の発表の場を提供し、コンサート企画なども行われていますが、平成28年度来館者は5629人と減少しています。

来館者増に向け、展示会プラスアルファのイベントを実施し、活性化を図っていく予定です。

それぞれに館長が配置され、今後はまちづくり課と連携し、両館の魅力を発信し、広く町内外にPRすることで、新規来館者およびリピーターの増加が本町活性化に結びつくと考えます。

委託先変更による改善は

ランチサービスが実施されて3年目となりました。

今年の3月に委託業者が変更になってから4か月が経過しており、実施状況の調査・試食を須恵東中学校において行いました。

利用率は

現在、ランチサービスを利用している生徒は毎月25%程度です。弁当持参の生徒が一番多いとのことですが、コンビニの弁当やパンの生徒もクラスに5人ほど見受けられるそうです。

美味しくなり、メニューも豊富に

以前より味が良くなり、おかずの種類や量も増え、利用している生徒や先生の評判は良いそうです。栄養士によりカロリー計算がさ



れて、1か月分のメニューも行事食・お楽しみメニューなど、バラエティに富んだものとなっていました。残渣の量なども毎回調査し、業者に報告されています。

より利用しやすいサービスを目指して

今後、申し込み方法の改善・保護者への周知も図っていくとのことです。生徒の健全育成のために、食育の必要性を再認識しました。

7月13日(木) ランチサービスの現状を視察